

いまさら聞けない

Herbarium

1. ハーバリウムとは？

「植物標本」を指すことばです。

最近ではドライフラワーやプリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーを瓶などに入れて、オイルに浸したものを「ハーバリウム」と呼んでいます。オイルに浸すことで、美しい状態で長く鑑賞できるのでインテリアとして最適です。

ハーバリウムのあれこれ！



2. ハーバリウム作りに必要なもの

瓶



ガラスに厚みがあり、キャップがしっかり閉まるものがおすすめです。

ピンセット



瓶に合わせてサイズを選んでお使いください。

オイル



ハーバリウムには透明度や光沢感のある専用オイルが適しています。

花材

花の形状や色彩、素材の特徴を考えながら選びましょう。瓶に入る大きさや長さに注意!!



Artificial Flower



Preserved Flower



Dry Flower

3. オイルの種類

ハーバリウムのオイルは大きく分けて主成分が「シリコンオイル」と「流動パラフィン＝ミネラルオイル」の2種があります。それぞれの特徴をご紹介します！

種類	GS 1215 ハーバルデコラ オイル 2ℓ ¥5,000 	GS 522 ハイクリア シリコンオイル ¥4,900 	PL 10 ハーバリオ 1ℓ ¥3,250 	GA 840002 スイレンカオイル 1ℓ ¥2,250 
成分	シリコンオイル 100%	ジメチルポリシロキサン	シリコン 8% 流動パラフィン 86% 増粘剤 6%	流動パラフィン 100%
特徴	・光沢性に優れており酸化劣化による変色はしにくい	・高度に生成した高純度のオイル	・透明度が高いため中の花がきれいで立体的に見える ・酸化劣化による変色はしにくい	・透明度が高いため中の花がきれいで立体的に見える ・粘度が低く花が崩れにくい ・酸化劣化による変色はしにくい
温度変化	温度変化しにくい	温度変化しにくい	耐寒性が低い -12.5℃で白濁→常温で戻る	耐寒性が低い -17.5℃で白濁→常温で戻る
粘度	高い/350cs とろみ強い (0℃で粘度が強くなるが常温で戻る)	高い/350cs とろみ強い	高い/350～380cs とろみ強い	低い/90cs ややサラリとしている
比重 <small>水を1とした場合の重さ</small>	0.97	0.97	0.86	0.86
引火点 <small>火を近づけた時に着火して燃焼する最低液温</small>	330℃	300℃	250℃	266℃
発火点 <small>空气中に点火原がなくても自ら発火する最低液温</small>	450℃ 安全基準内	400℃ 安全基準内	295℃ 安全基準内	320℃ 安全基準内
材料の色落ち	色落ちしにくい (黄色系の色落ちが特に少ない)	色落ちしにくい	植物塗料は落ちやすい	水性塗料は落ちにくい ※油性染料や植物性染料は色落ちの可能性がある
手についた場合の処置	・中性洗剤で洗うと落としやすい ※油性なのでテーブル等を拭く場合はアルカリ性洗剤を使用	・中性洗剤で洗うと落としやすい	・水洗い ・中性洗剤で洗うと落としやすい	・中性洗剤で洗うと落としやすい

- ・別メーカーまたは別の種類のオイルは成分が異なるので、混ぜて使用しないでください。
- ・シリコンアレルギーのかたは流動パラフィン系オイルをおすすめします。

4. 基本の作り方

Let's Make!

① 材料を用意します。
瓶の中がしっかり乾燥した状態か確認してください。花材を下から順にいれます。



Point

最初にもず花材を仮置きしてみましょ。



② オイルを入れます。
花材に直接オイルがかからないように、ボトルの口に沿わせてオイルを注ぎます。



Point

花材を詰めした後、細かいゴミを出しましょう。



③ フタを閉めます。
花材を整えて、フタを閉めます。漏れの原因になるので、しっかりと閉めてできあがり！



Point

オイルはギリギリまで入れず、空気の層を残してください！

5. 花材の入れ方

花材の特徴をいかしながら入れ方を工夫するとイメージが変わります。



花のステムをいかし



ランダムに浮かせる



束ねて入れる



ハーバリウム制作上の注意

- ・ハーバリウム専用オイルの使用をおすすめします。(花材がつぶれやすく、立体的にキレイに開きずらくなるため)
 - ・ガラス瓶や花材はよく乾燥させてご使用ください。乾燥が不十分だとカビが発生する場合があります。(オイルにカビは発生しません)
 - ・オイルを入れた後、花材から気泡が出ている場合は、できるだけ気泡が出なくなってからキャップを閉めてください。中に空気が溜り、膨張の原因になります。
 - ・オイルは高温になると体積が増える場合があるため、瓶いっぱいに入れず空気の層を多少残した状態にしてください。
 - ・膨張による容器破損の恐れがあるため、キャップは接着剤などで固定しないことをおすすめします。
 - ・ペイント加工されたドライフラワーを入れた場合、面のある葉もの等は加工が剥がれやすい傾向にあります。
 - ・オイルが目に入った場合は、水でよく洗い流してください。
 - ・オイルは粘度が高いため、取り分ける容器に付着します。瓶に注ぐ量より多めに用意してください。(約1.2倍の量)
 - ・オイルは流し(下水道)に捨てないでください。食用油と同じく、新聞紙や古布に染み込ませて可燃ごみとして廃棄してください。
 - ・オイルを1200ℓ以上保管する場合は地方自治体への申請が必要です。
- ※販売、講習会、展示会等で1200ℓ未満を保管する際は申請不要です。(但し百貨店などはそれぞれの規定によります)

ハーバリウムの使用上の注意

- ・火気の近くや直射日光はお避けください。
 - ・お子様やペットの手の届かない所に保管してください。
 - ・食用ではありませんので飲まないでください。
 - ・本来の用途以外には使用しないでください。
 - ・キャップが振動などでゆるむ場合がありますので、時々締めなおしてメンテナンスをしてください。
 - ・配送は陸上輸送が可能です。未開封のオイルは航空輸送も可能です。(航空会社の規定によるのでご確認ください)
- ※アレンジ後のハーバリウムは当社では航空輸送不可としています。

6. 花材・資材のバリエーション

ドライフラワー、プリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーの他に、リボンやペーパー類など資材を入れると、さらに世界が広がります。オイルとの相性(色落ちなど)は事前にチェックすることをおすすめします。



リボンをプラス

ナチュラルな花材にぴったりのリボンを合わせました。



ラメカルワイヤーをプラス

花留めにもなるラメカルワイヤー！華やかさも増します。



lame Wire



ペーパーとフェザーをプラス

個性的な組み合わせでオリジナリティUP!



オーナメントをプラス

オーナメントはマジカルウォーターで固定しています。



ワイヤーブリーズとパールビーズをプラス

ワイヤーブリーズにビーズを通して、らせん状に瓶に入れていきます。



グリッターをプラス

スノードームのようなハーバリウムに。

